



SDGs未来都市・横浜



～「SDGs未来都市・横浜」の実現を目指して～ 横浜市と株式会社三井住友銀行が 資源循環型エコサイクルの実現に向けた取組をスタートします

横浜市は「SDGs未来都市・横浜」の実現に向けて、「ヨコハマSDGsデザインセンター*（以下「デザインセンター）」を中心に、市民・企業・大学等と連携し取組を進めています。

このたび、横浜市と株式会社三井住友銀行（本社：東京都千代田区、頭取 高島 誠、以下「SMBC」）は、**食品ロス等の廃棄物の有効利用と、当該取組による地域のコミュニティの活性化等によって、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る横浜型「大都市モデル」を構築**するため、両者が相互に連携する協定を締結しました。

今後、デザインセンターのプロジェクトの一つとして、本取組に資する技術を持つ企業等との連携構築やファイナンス等金融面での企業支援等において、SMBCの協力を得ながら、具体的な取組を進めていきます。

*ヨコハマSDGsデザインセンター



市や民間事業者等、多様な主体の協働により、環境・経済・社会の3側面で相乗効果を生み出し、社会課題解決を図る横浜型「大都市モデル」を創出する仕組み

・デザインセンターウェブサイト <https://yokohama-sdgs.jp/>

経緯

企業としてSDGsの目標達成にも取り組まれているSMBCに、「SDGs未来都市」に選定された横浜市の取組に共感いただき、「資源循環型エコサイクル」の実現について横浜市へご相談をいただきました。その後、デザインセンターも入り協議を進め、環境・経済・社会の3側面の統合的課題解決を通じた持続可能なまちづくりに向け、相互に連携して取組を推進することに合意し、このたび連携協定を締結しました。

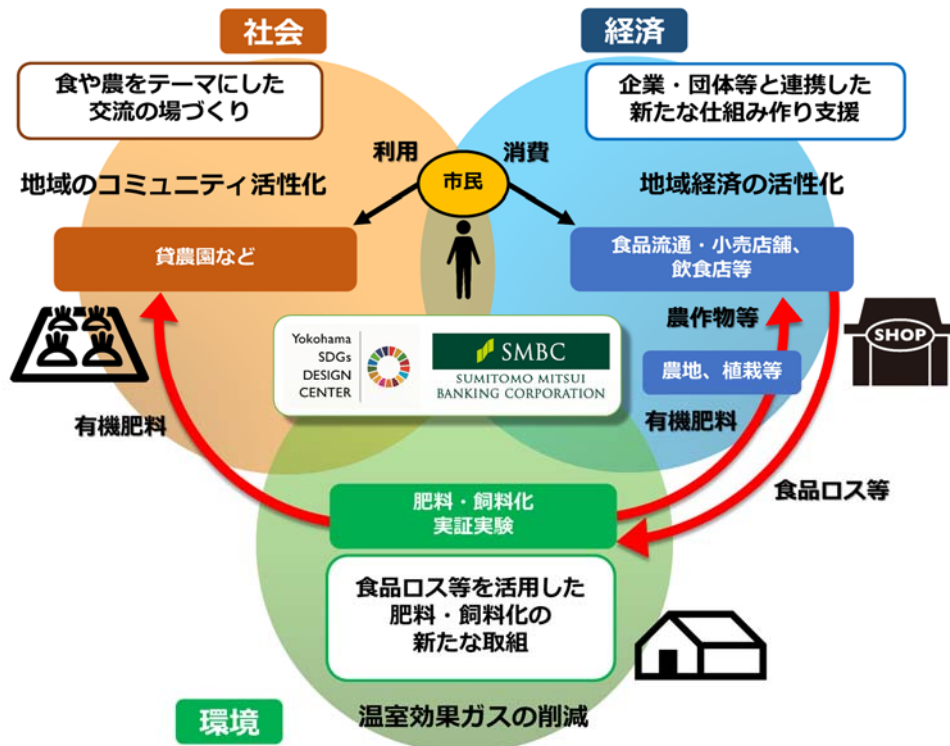
連携協定の対象分野

- (1) 資源循環型エコサイクル構築及び関連取組の実施による持続可能なまちの実現に関すること
- (2) 農に関連する様々な要素を取り入れたコミュニティの活性化・食育・健康づくりや、多世代交流の場の創出に資する取組に関すること
- (3) その他「SDGs未来都市・横浜」の取組推進に関すること

具体的な取組内容（「資源循環型エコサイクル」の構築）

- 温室効果ガス排出量の少ない技術を用いて、食品ロス等から飼肥料を製造・活用するための実証実験を行います。
- 様々な企業・団体等と連携し、飼肥料活用先の農地等を地域におけるコミュニティの活性化や多世代交流の場として活用するなど、地域活性化につながる仕組みを創出します。

○資源循環型エコサイクルの構築（目指す姿）



【取組に向けた両者の主な役割】

ヨコハマSDGsデザインセンター



- 市内企業・団体等との連携・調整
- 本取組をモデルとした新たなイノベーション創出を促すプロモーション



- 取組に資する技術を持つ企業等との連携構築
- ファイナンス等金融面での企業支援

ヨコハマSDGsデザインセンターの情報発信や相談の窓口がオープンします！

- 日時：令和元年5月28日（火）14時オープン
- 場所：横浜メディア・ビジネスセンター1階（ハーバーズ・ダイニング内）
（横浜市中区太田町2-23）
- 内容（予定）：
 - ①SDGsやデザインセンターに関する情報の発信（関連する取組展示、交流イベント開催など）
 - ②デザインセンターへの相談窓口機能 など

お問合せ先

温暖化対策統括本部SDGs未来都市推進課長 高橋 知宏 Tel 045-671-3901